地元議会や国会議員、政府関係者、地方自治体関係者とともに10月24日またはその前後に「世界ポリオデー」にちなんだ決議を採択したり、ロータリーのポリオ根絶活動を広報したりする際に、この見本をご活用ください。**ご利用の際は、このテキストボックスを削除し、下記の空欄や挿入個所に情報（人数、地名、氏名、日付など）を挿入してください。**

**国際ロータリーの宣言**

ロータリーは、世界中の地域社会に持続可能な変化を生むために手を取り合って行動する市民、リーダー、ボランティアから成るネットワークである。

会員は、ロータリーの標語である「超我の奉仕」の下、人道的な奉仕活動を実践し、高い道徳基準を奨励し、世界中で親善や平和を築くための活動をしている。

ロータリーは1985年に「ポリオプラス」を立ち上げ、1988年からは世界保健機関（WHO）、米国疾病対策センター（CDC）、UNICEF（国連児童基金）、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団、Gaviワクチンアライアンスと共に、「世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）」を主導している。

1988年以来、ポリオの発症数は99.9％減少し、ポリオ根絶は目前に迫っている。

今日までに、ロータリーはポリオ根絶活動へ21億ドル以上を寄付してきただけでなく、122カ国、25億人の子どもにワクチンを投与する活動にボランティアとして参加してきた。

ロータリーは現在、さらに年間5000万ドルを拠出することに力を注いでいる。これには、ポリオ根絶活動へのインパクトを最大にするため、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団から年に最高1億ドルが上乗せされる。

この資金は、活動の運営支援、医療従事者の支援、検査装置の提供、保健従事者への教育用資料などに充てられている。

さらに、ポリオ根絶活動に対する各国政府からの100億ドル以上の寄付を確保する上で、ロータリーが主な役割を果たしてきた。

世界には3万5千以上のロータリークラブがあり、その会員数は120万人に上る。**［都道府県名］**には、**［数を挿入］**以上のロータリークラブがあり、**［数を挿入］**人以上の会員が、貧困、保健、飢餓、識字、環境といった重要課題に取り組んでいる。

よって、**［都道府県名／市区町村］**の**［知事／市長／区長／町長／村長等］**である私**［氏名を挿入］**は、ここに、**［10月24日または他の日付を挿入］**に「世界ポリオデー」への支援を宣言し、すべての**［都道府県／市区町村］**民が、国際ロータリーの「ポリオのない世界」を実現する活動に参加することを奨励する。